

## 「西條」

令和5年度 第3号

## 認め合うこと、支え合うこと、学び合うこと

教頭 森谷 信久

授業の1コマを紹介します。

「漢委奴国王」という5文字をご存じでしょうか。1世紀半ばの漢(中国)の歴史書には、倭(日本)の奴国の王が漢に使いを送り、漢の皇帝から金印を与えられたと書かれています。その金印に彫られていた文字が「漢委奴国王」です。このころ大帝国を築いていた漢は、周辺諸国の王に金印を与え、家臣としました。「漢委奴国王」の金印は、倭の奴国が漢の家臣であった証です。

さて、授業では、まず金印のレプリカを生徒に見せました。「それ本物?」「なぜ先生が持っているの?」「なんかちっちゃい」など、写真を見せたとき以上に興味は高まりました。次に、金印のスタンプを見せ、ノートに私が押印することを伝えました。

生徒はすぐに私の前に並びました。ノートを指差し、押印する場所を指定する生徒や、席に戻り押印された文字をじっくりと眺める生徒もいました。

全員の押印が終わったところで次のように問いました。「前の時間に学習しましたが、金印を与えたり受け取ったりすることは、どんな意味があるのですか」

生徒は気づき始めます。「あっ、そっか」「おれ、いらんだかもしれん」続けて、私は言いました。

「皆さんは、私の家臣です、私に従ってもらいます」

生徒はつぶやきます。「レプリカだからそんなに意味ない」「スタンプだから…」

それらのつぶやきの中から、どきりとする発言がありました。

「先生! 私たちを支えてくれるのですね!」「私も守ってもらいます!先生お願いします!」

私はうれしくなりました。前の時間に学習した内容を理解した発言であったこと、そして、何より「支える」「守る」という言葉の響きのよさです。教師として大人として、生徒に頼りにされること、西條中学校に集う仲間が支え合うということ。4年間教育委員会に勤務し、5年ぶりに授業をしている私にとって、このような子供たちとのやりとりが楽しくてなりません。

西條中学校の目指す学校像には次の3つが掲げられています。

「認め合う仲間が集う学校」「支え合う仲間が集う学校」「学び合う仲間が集う学校」

西條中学校に集う315名の生徒と全教職員、そして地域の皆様が、認め合い・支え合い・学び合う関係であり続けられるよう、教職員一同努めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



生徒に押印した  
金印スタンプの  
「漢委奴国王」



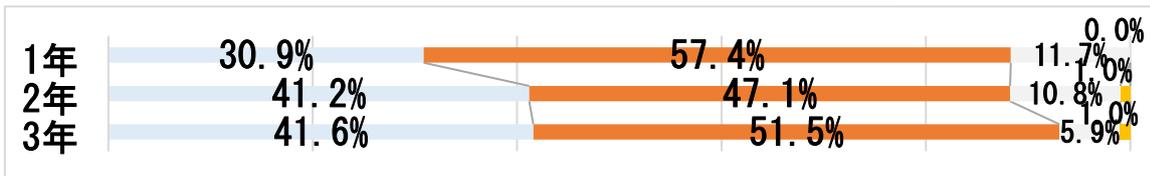
# ◎第1学期のアクションプランの取組について◎

## アクションプラン1 課題に向けて、自ら主体的に取り組む生徒の育成

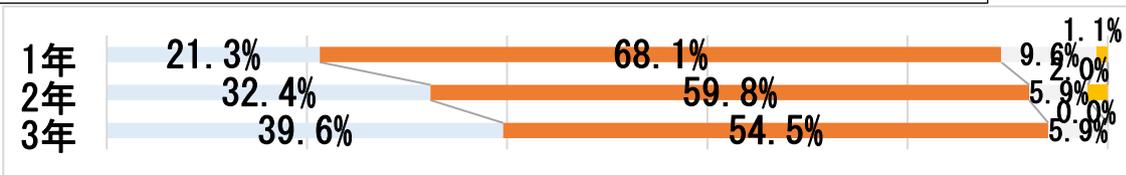
アクションプラン1のキーワードは「学ぶ喜び」です。課題に向けて、自ら主体的に取り組む生徒の育成を重点課題としています。第2学年社会科「武士による全国支配の完成」では、江戸幕府が長期政権を築くことができた仮説について分類しました。友達と学び合い、課題を解決する姿が見られました。その後も、「武士」「百姓」「外国の人」という視点から、様々な資料を調べ、考えを深めています。

「振り返りを通して学びを実感できた」と回答している生徒は、1年88.3%、2年88.2%、3年93.1%でした。定期考査等を返却した際に、誤答や今後気を付けたい問題等を取り上げ、レポートを書いて振り返る教科もあります。今後も、学習課題に適した振り返りの場を設定し、学習した内容が定着するよう、授業改善に努めます。

私は、課題の解決に向けて、授業に意欲的に取り組むことができたと思う。



私は、授業中や確認テストにおける「振り返り」を通して学びを実感(気付き、理解、達成等)できたと思う。

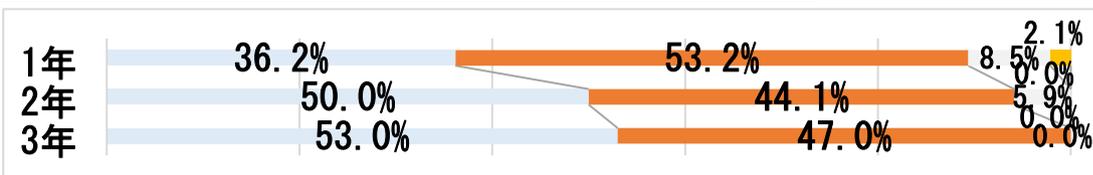


(左から「よく当てはまる」「当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」)

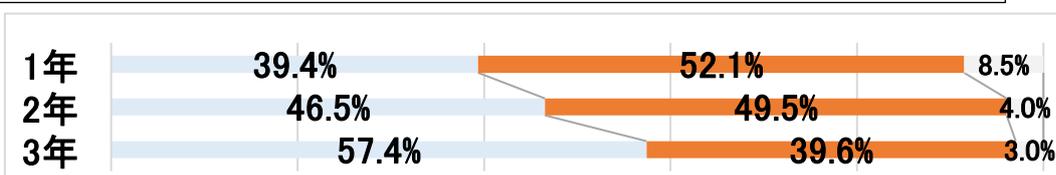
## アクションプラン2 よりよい人間関係を築き、互いに尊重し、高め合う生徒の育成

アクションプラン2のキーワードは「仲間と共に」です。よりよい人間関係を築き、互いに尊重し、高め合う生徒の育成を重点課題としています。今年度は、学級活動において、計画的に仲間と関わり合う活動を設けています。意識調査では、「学級の中で、互いのよさや違いを認め合うことができた」「互いの思いや立場を尊重して、相手の話を聞いたり自分の思いを伝えたりすることができた」と回答した生徒が多くなっています。自由記述には、修学旅行や校外学習等に友達と一緒にいることができた喜びが綴られています。今後も、学級や学年での活動を大切に、思いや考えを伝え、本音で語り合う集団づくりができるよう指導していきます。

私は、学級の中で、互いのよさや違いを認め合うことができたと思う。



私は、互いの思いや立場を尊重して、相手の話を聞いたり自分の思いを伝えたりすることができたと思う。



(左から「よく当てはまる」「当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」)